

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	こどもがつくる 信州未来ファンタジー プロジェクト みらいの信州2018歴史ミュージアムづくり
事業主体	こどもヘンテコまほうラボ 〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 1533-9
事業区分	3 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	443,395 円 (うち支援金: 332,000 円)

事業内容

佐久地域の小学生を対象とした、自分が住んでいる所に現在ある物事を再発掘し、そこから、自分が住んでいる場所の未来を想像する、連続ワークショップ。導入講座では、地域の歴史について学ぶ為、地域の博物館や資料館などを見学した。

こども達が、自分の身の周りの物事を、未来の人達が見ると仮定した「2018歴史ミュージアム」をつくり、イオンモール佐久平にて発表した。

また未来に残っていてほしいものを登場させた未来ファンタジー (おはなし) をつくり発表会を行った。

こども達が地域のものごとを再発掘し、地域の人に向けて地域の未来について発信することができた。

こども達がつくった、2018ミュージアムの内容を図録としてまとめ、未来ファンタジー (おはなし) は冊子としてまとめ、地域の図書館、学校図書室に設置して地域の人に楽しんでもらう。

※2018歴史ミュージアム：昔の人の生活などを、現代で、歴史ミュージアムでみる事ができている。100年後の未来の人達に見てもらおう、と仮定して、現代のどんなものかを紹介したいのかを決め、各自が展示をつくる仮想歴史ミュージアム。

※未来ファンタジー：民話や神話の様に、未来へ語り継ぎたい、100年後に残っていてほしいと思う現在のものや場所を、こども達が想像力を使い、オリジナルのお話をつくる。

【概要】 全7回 (プレ1回) 連続講座で開催。

【対象】 小学生



事業効果

- ① 接触人数が多く、また、多様な人に見てもらおうよう、活動の1つ目の発表「2018 ミュージアム」をイオンモール佐久平の催事スペースにて開催した。
約100人の来場があり、子ども連れ親子が多かったものの、多様な人来場してもらうことができた。
- ② 来場してもらう人数には限りがあるため、図録として内容をまとめ、地域図書館、小学校図書室に配布した。
- ③ 子ども達が主体的に自分の地域の未来に向けて大切にしたいもの、こと、場所について発信することができた。

【目標・ねらい】

- ① 同じ地域に暮らす多様な人が、地域の未来（生活環境や資源にまつわる）について考える機会を創りたい。
- ② 子ども達が、地域の未来（生活環境や資源にまつわる）について考え、子ども達が主体的に発信する機会を創りたい。

※自己評価【B】

【理由】

子ども達が主体的に自分の地域の未来に向けて大切にしたいもの、こと、場所について発信することができた。

今後の取り組み

今後も、小学生、幼児を対象として、子ども達が地域のもの、場所と出会い、再発見する機会となる催し、未来についてアプローチするきっかけを子ども達が主体的に作る場を、引き続き開催していく。